

第57期 定時株主総会

2021年6月18日

JBCCホールディングス株式会社

事業報告

1. 2021年3月期 決算概要
2. 中期経営計画 Transform2020 総括
3. 次期中期経営計画 HARMONIZE 2023 と
新 グループビジョン

当グループの概要

HARMONIZE
by JB Group



お客様のDXを実現する総合ITサービス企業グループ

- 社名 : JBCCホールディングス株式会社 [東証1部9889]
設立 : 1964年4月1日
資本金 : 47億13百万円
社員数 : 2,079名 (2021年4月1日現在)
[有期社員を含む連結ベース]
事業会社 : 9社



国内49拠点、海外4拠点

1. 2021年3月期 決算概要

中計 Transform2020 **売上高 / 当期純利益 目標達成**

コロナ禍の影響を最小化

注力事業の継続的な成長

クラウド、New SI (超高速開発)、セキュリティが伸長

業績概況

HARMONIZE
by JB Group

	2020年3月期	2020年3月期 (特需除く)	2021年3月期	対前年	対前年 (特需除く)	上方修正後 業績予想	(百万円) 進捗率
売上高	65,618	59,181	60,042	-8.5%	+1.5%	58,000	103.5%
営業利益※	3,461	2,391	2,603	-24.8%	+8.9%	2,700	96.4%
	5.3%	4.0%	4.3%			4.7%	
経常利益※	3,606	2,536	2,726	-24.4%	+7.5%	2,750	99.1%
	5.5%	4.3%	4.5%			4.7%	
当期純利益※ (親会社株主に帰属 する当期純利益)	1,951	1,294	1,931	-1.0%	+49.2%	1,750	110.4%
	3.0%	2.2%	3.2%			3.0%	

※2021年5月11日開示の原価修正を反映

事業分野別の状況

HARMONIZE
by JB Group

(百万円)

		2020年3月期	2020年3月期 (特需除く)	2021年3月期	対前年	対前年 (特需除く)
情報ソリューション	売上	63,273	56,952	57,830	-8.6%	+1.5%
	売上総利益	17,021	16,028	16,118	-5.3%	+0.6%
	%	26.9%	28.1%	27.9%		
SI	売上	17,797	17,797	15,774	-11.4%	-11.4%
	売上総利益	5,803	5,803	4,819	-17.0%	-17.0%
	%	32.6%	32.6%	30.6%		
サービス	売上	25,165	23,861	25,538	+1.5%	+7.0%
	売上総利益	7,523	7,143	7,728	+2.7%	+8.2%
	%	29.9%	29.9%	30.3%		
システム	売上	20,310	15,293	16,517	-18.7%	+8.0%
	売上総利益	3,694	3,081	3,570	-3.4%	+15.9%
	%	18.2%	20.1%	21.6%		
製品開発製造	売上	2,344	2,228	2,211	-5.7%	-0.8%
	売上総利益	1,443	1,366	1,223	-15.3%	-10.5%
	%	61.6%	61.3%	55.3%		
合計	売上	65,618	59,181	60,042	-8.5%	+1.5%
	売上総利益	18,464	17,394	17,341	-6.1%	-0.3%
	%	28.1%	29.4%	28.9%		

キャッシュフローの状況

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	キャッシュフローの主要要因
営業活動によるキャッシュフロー	3,216	2,553	税金等調整前当期純利益の増加 退職給付制度変更による退職給付に係る負債の減少
投資活動によるキャッシュフロー	98	-197	子会社株式の取得による支出
財務活動によるキャッシュフロー	-1,368	-1,044	配当金の支払い

主な経営指標

HARMONIZE
by JB Group

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高営業利益率 (特需除く)	3.3%	4.5% (3.7%)	5.3% (4.0%)	4.3%
ROE (特需除く)	8.3%	11.6% (9.7%)	12.4% (8.8%)	11.6%
1株当たり当期純利益(円) (特需除く)	70.8	106.4 (86.8)	119.8 (79.5)	120.2
フリーキャッシュフロー(百万円)	-550	1,658	3,314	2,356
1株当たり配当金(円)	32	普通配当 36 記念配当 10 計 46	50	50

※ フリーキャッシュフロー = 営業活動におけるキャッシュフロー + 投資活動におけるキャッシュフロー

2.中期経営計画 Transform2020 総括

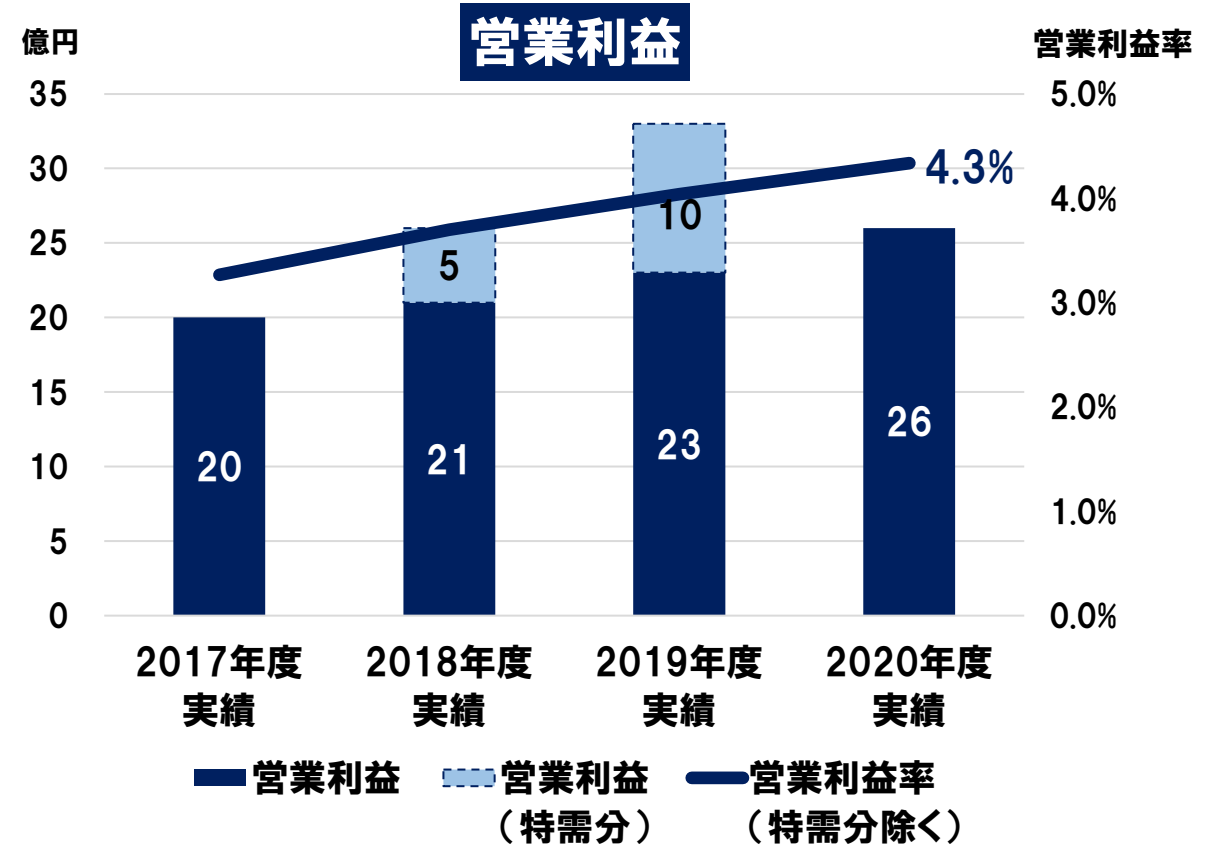
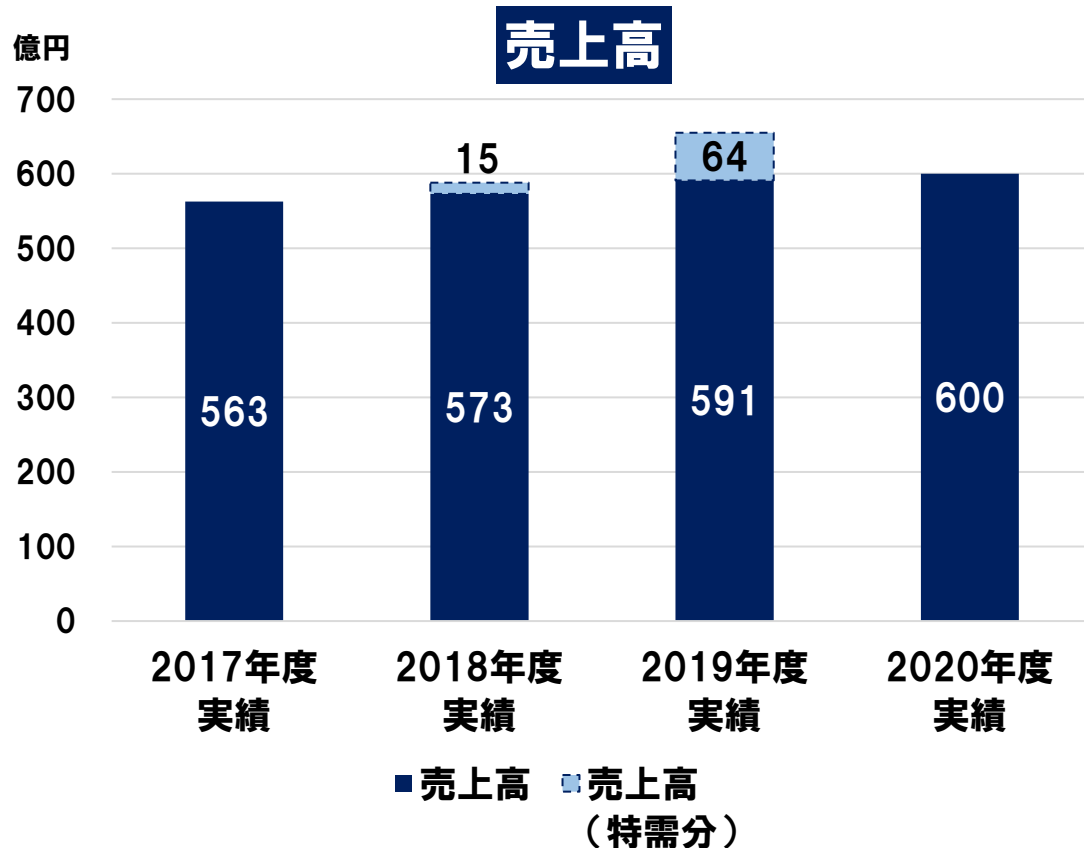
Transform2020総括 - 全体

HARMONIZE
by JB Group

売上高
目標 600億円
実績 600億円

営業利益
目標 27億円
実績 26億円

当期純利益
目標 18億円
実績 19億円



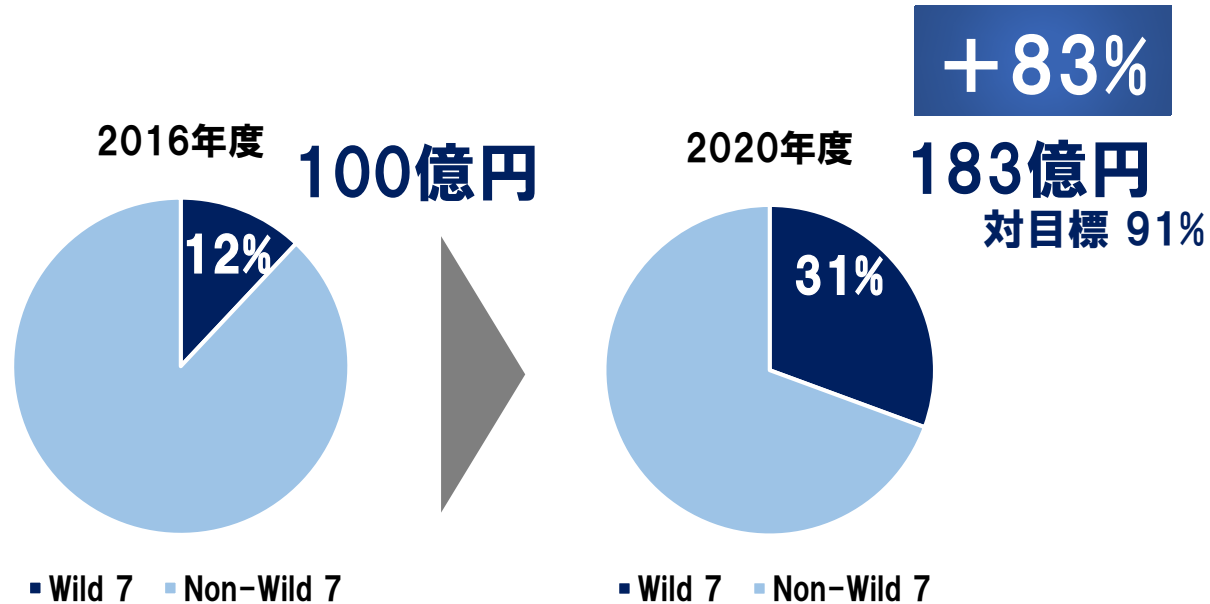


✓ Wild 7へのシフトにより、収益力は着実に向上

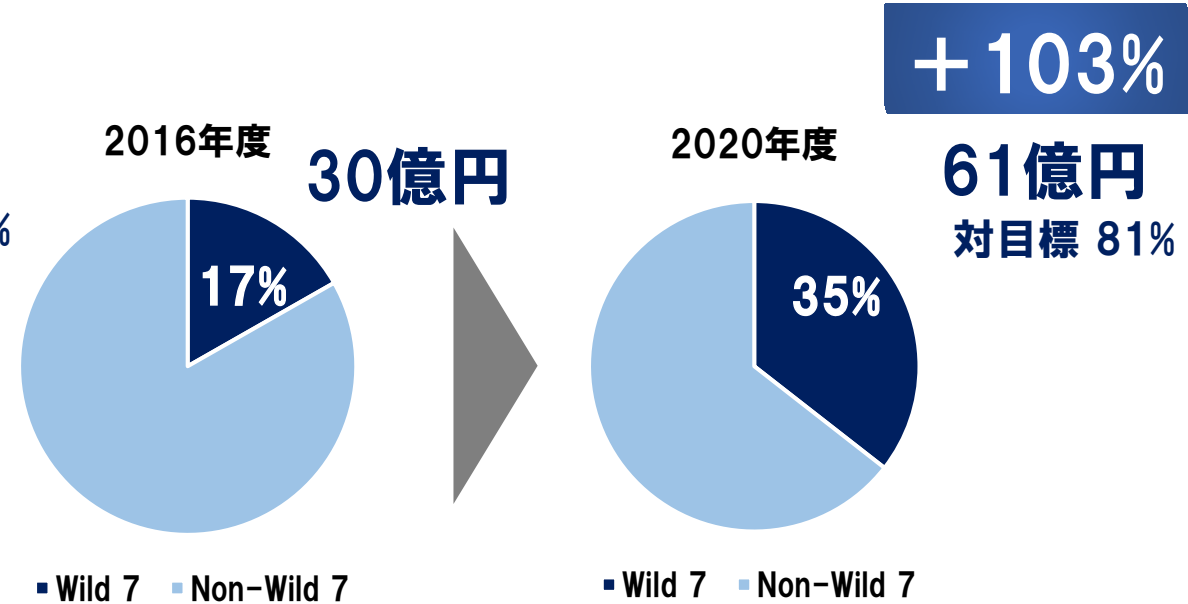
売上総利益率

22%(2016年度実績) → 29%(2020年度実績)

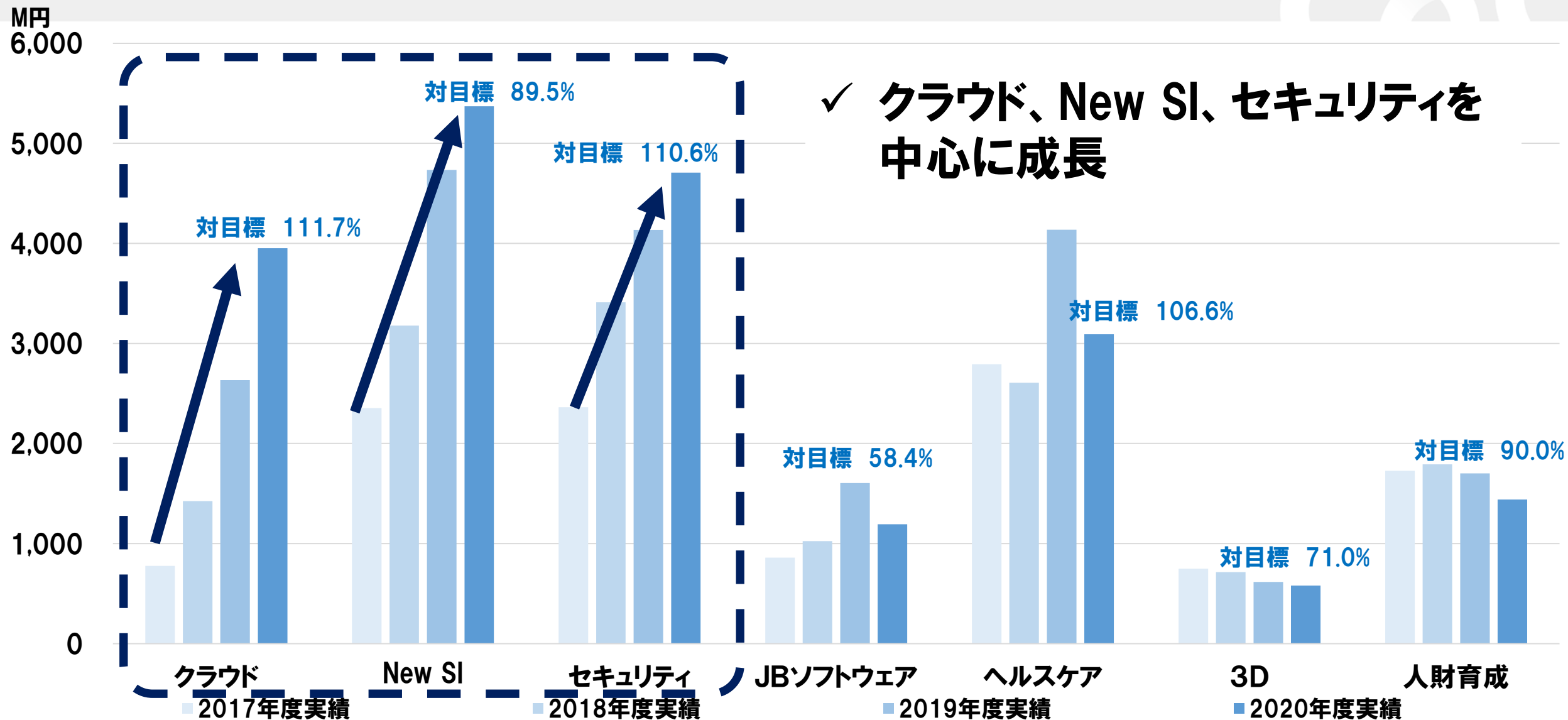
売上



売上総利益



Wild 7 伸長状況



Wild 7の成果

Wild 7	成果
クラウド	➤ クラウド・ビジネス伸長：5倍 ➤ マルチクラウド&ハイブリッドの最適インフラ提供 ➤ 提供実績：1,600社
New SI	➤ 基幹システム開発におけるJBアジャイル確立 ➤ プロジェクト実績：374社 ➤ サブスク・モデルの発表
セキュリティ	➤ クラウド・セキュリティ ビジネスの伸長 ➤ 導入実績：1,000社 ➤ セキュリティ診断ノウハウの蓄積と提供
JBソフトウェア	➤ フォーカス領域の明確化：クラウド・データ連携分野 ➤ Qanat Universe連携SaaSの拡大 ➤ 提供形態のサブスク・シフト
ヘルスケア	➤ 病院ICT提案の推進 ➤ クラウド・カルテ『blanc』提供開始
3D	➤ マルチベンダー保守の拡大 ➤ 3D保守ノウハウの蓄積
人財育成	➤ オンライン研修への移行 ➤ DX研修、デジタルラーニングの推進

JBグループならではの
価値

病院のメインITパートナーとなるべく、
インダストリー領域として推進

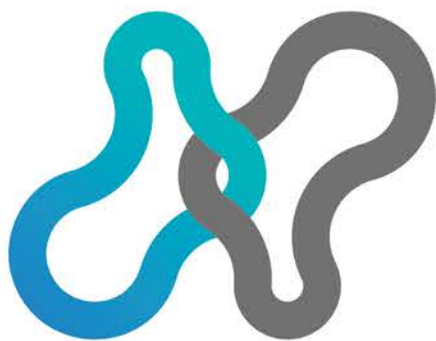
JBサービスの重点事業として推進、国内
No.1 3Dサービスプロバイダーへ

事業ポートフォリオの見直しを行い、
株式を譲渡

経営資源の集中により、さらなる成長へ

- ◆ CISとFinityを経営統合 (2021年3月1日)
- ◆ JBCCとGBSを経営統合 (2021年4月1日)
- ◆ i-Learningの株式を譲渡 (2021年3月31日)

3.次期中期経営計画 HARMONIZE 2023 と 新 グループビジョン



HARMONIZE

by JB Group

トータルITサービス「HARMONIZE」

Service introduction of HARMONIZE

HARMONIZEとは

お客様とJB Groupの共創の意より「調和=HARMONIZE」

HARMONIZEのロゴの意味

HARMONIZEの頭文字の「H」と共創を表現。
JB Groupとお客様が一つの形を成すことで、両者が未来に向かって、共に挑み、調和していく様子を表しています。

DXフレームワーク

(DX化のステップ: 経産省 DXレポート2を参考に作成)

HARMONIZE
by JB Group

	デジタイゼーション	デジタライゼーション	デジタルトランスフォーメーション
ビジネスモデルのデジタル化			ビジネスモデルのデジタル化
製品/サービスのデジタル化	デジタル製品	製品へのデジタルサービス付加	製品を基礎とするデジタルサービス
業務のデジタル化	業務/製造プロセスの電子化	業務/製造プロセスのデジタル化	顧客とのE2Eでのデジタル化
プラットフォームのデジタル化	従来型ITプラットフォームの整備		デジタルプラットフォームの整備
DX推進体制の整備	リモートワーク環境整備		内製化

HARMONIZEとDXフレームワーク

HARMONIZEは、お客様のデジタル変革をご支援します

HARMONIZE
by JB Group

デジタイゼーション

デジタライゼーション

デジタルトランスフォーメーション

ビジネスモデルの
デジタル化

製品/サービスの
デジタル化

業務のデジタル化

プラットフォームの
デジタル化

DX推進体制の整備

ビジネスモデル変革支援
(Business model Transform)

デジタル製品

製品/サービス付加
デジタルサービス

お客様のビジネス変革を
一貫してご支援

業務変革ソリューション
(Application Transform)

業務/製造プロセス
の電子化

業務/製造プロセス
のデジタル化

お客様の業務変革を、
最適ソリューションで
スピード実現

プラットフォーム変革ソリューション
(Platform Transform)

従来型ITプラットフォームの整備

お客様のプラットフォーム
変革を、最適コストで
おまかせ構築

コラボレーション・サービス
(Collaboration Service)

リモートワーク環境整備

内製化

お客様との統一窓口で、
役立つ情報をご提供

ビジネスモデル 変革支援

お客様のビジネスモデル
変革を一貫してご支援

バリュークリエイト サービス

バリュークリエイターが、ビジネスデザインからサービス提供サイクルまで、一貫したサービスをご提供

共創サービス

お客様や他社とのパートナーシップにより、実証実験を通じた早期の新サービスの立ち上げを実現

業務変革ソリューション

お客様の業務変革を、
最適なソリューションでスピード実現

超高速開発

350以上の開発プロジェクト経験から生まれた、どこよりも早く、必ず成功に導く独自のアジャイル開発手法

SaaS

自社利用と2万社を超えるITソリューション支援の経験から、お客様に最適な組み合わせのSaaSをご提供

デジタル業務 ソリューション

お客様要件に合わせてカスタマイズした業務ソリューションを月額料金で素早く提供

クラウド連携 ソリューション

社内外のクラウド・サービスやオンプレミス・システムの連携基盤をご提供

プラットフォーム変革 ソリューション

お客様のインフラ変革を、
最適コストでおまかせ構築

IaaS

クラウド構成の最適化サービス(Cloud Fitness/Health)、監視・管理サービスで最適なクラウド運用をご支援

セキュリティ

マルチクラウド環境構築の豊富な実績をもとに提供する一貫したクラウドセキュリティサービス

コラボレーション サービス

お客様との統一窓口で、
役立つ情報をご提供

ポータルサービス

お客様とJBグループとのコミュニケーションのプラットフォームを提供。サービスやコンテンツのお問い合わせ窓口を一本化

コミュニティ

HARMONIZEを中心とした、企業でのITの活用に関わる役立つ情報をご提供

顧客価値を明確化。新たな顧客接点を創り出すプロセスを設計、伴走



お客様

株式会社一保堂茶舗 様

事業内容

京銘茶の加工・製造・小売

過去 Before

オンラインでの顧客接点を模索

店舗に加え、オンラインでもお客様とつながる会員制度を社内プロジェクトで検討。アイデアをサービスにつなげたい。

現在 Transform

新サービスの方向性を明確化

サービスデザインの専門スキルを持つ**バリュークリエイター**とのワークショップを通じて、新サービスのコンセプトを固め、方向性を一つに。

将来 to the Future

構想を形に、変革を共に推進

オンラインでのお客様と一保堂の新たな関係・価値の創出を目指し、**バリュークリエイター**と共に変革の歩みを進めます。

- ・組織を越えて一つの認識を共有したい
- ・アイデアをサービスとして具体化したい
- ➡ そのためのプロセスで進めたい

- ・自社の魅力・強み・価値を再認識・共有
- ・新サービスのコンセプトを明確化
- ・新しいものを作る過程を経験から習得



未来へ 共に 挑む
HARMONIZE
by JB Group

顧客ニーズに応じた新サービスの迅速な提供を目指し、クラウドへ移行



お客様

遠鉄システムサービス株式会社 様

事業内容

総合生活産業として事業展開する遠鉄グループの情報システム企業

過去 Before

スピード、システムの柔軟性に課題

オンプレミスのインフラ環境、ウォーターフォール型のシステム開発では、スピード感あるビジネスの実現、サービス提供が難しい！

課題

- ・事業環境の変化に柔軟対応できない
- ・顧客ニーズに迅速に対応したい
- ・サーバー等資産管理の作業負荷大

現在 Transform

最適移行計画で段階的にクラウドへ

実績ある**クリニック**で、コストとパフォーマンス、運用を考慮した段階的な**クラウド移行計画を策定**。将来を見据えたシステム基盤を構築します。

将来 to the Future

データ活用で経営スピードを高める

グループ間の連携を強化。顧客のニーズに応じたサービス提供や新規事業への挑戦等、データを活かした経営改革を目指します。

- ・段階的クラウドシフトで早期にクラウド基盤化
- ・新サービスをスピーディに提供できる先進的なIT基盤
- ・コスト・パフォーマンス・運用の最適設計

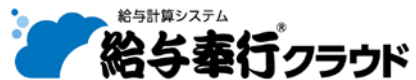
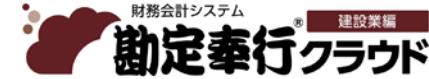
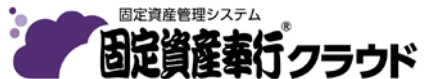
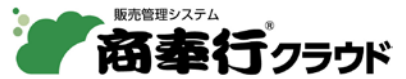
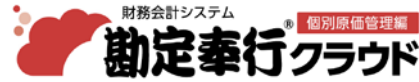
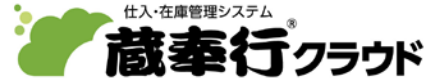
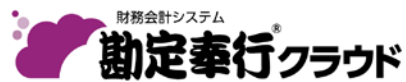
未来へ 共に 挑む
HARMONIZE
by JB Group

【Qanat Universe】連携先の拡充と実利用の推進

2020年度
61ソリューション



2021年度
160ソリューション
(予定)



おまかせ請求



創り出そう、躍動する社会を。 挑戦しよう、技術とともに。

進化するテクノロジー、変動する社会、呼応して変わる私たちの生活—。

過去から続く未来は、今日も、明日も、その先も変化し続けていくことでしょう。

だからこそ私たちは技術を磨き、変化を読み、たゆまぬ挑戦で前へ、先へと進むのです。

その道のりではときに涙することもあるでしょう。

でも、私たちには信頼してくれるお客様と、その信頼に真摯に応える熱い想いを持った仲間がいます。

身に着けた技術をふるい、軽やかに未来を紡ぐ。

そうやってたくさんの企業を、そして、そこで働く人々の時間を豊かにしよう。

一つひとは小さな「今」でも、それを重ねることで思い描いた未来になると信じて。

あなたとともに、お客様とともに、パートナーとともに、未来とともに

躍動する社会を、創りましょう。

- ✓ HARMONIZEの推進により、事業構造の大幅な変革を推進
- ✓ 持続的な利益成長により、継続的かつ安定的な配当を実施

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	対前年
売上高	※ 60,042	58,500	-2.6%
営業利益	2,603	2,800	+7.5%
%	4.3%	4.8%	
経常利益	2,726	2,850	+4.5%
%	4.5%	4.9%	
当期純利益	1,931	1,900	-1.6%
1株利益(円)	120.2	118.0	

年間配当金(円)	50.0	52.0	
配当性向	41.6%	44.0%	



(百万円)

2024年3月期 目標
60,000
3,300
5.5%
3,350
5.6%
2,200
136.9
62.0
45.3%

重点分野指標

超高速開発比率
30% ⇒ 70%

クラウドStock
CAGR 46%

セキュリティStock
CAGR 42%

Qanat Universe
10,000本

※ i-Learning 売上 1,579百万円を含む

JBグループは価値創造型企業へ

HARMONIZE
by JB Group



補足資料（用語集）

用語集①

用語	英語表記、読み方など	解説
クラウド	cloud	データなどはすべてネットワークの向こう側(＝クラウド:雲)にあり、利用者はインターネットに繋がるブラウザ端末を利用してデータの処理などを行ない、利用状況に応じて料金を支払うビジネスモデルのこと。
New SI	ニューエスアイ	新しいテクノロジー、最適な開発モデルでお客様とともにお客様のやりたいことを素早く具現化するというJBCCの考え方。
超高速開発	ー	業務アプリケーションの開発工数を劇的に短縮する開発支援ツールをはじめ、開発手法なども含めて、システム開発により高い生産性をもたらし、従来のシステム開発が抱えている問題解決などに活用していく考え方、開発への取り組みのことを指す。
GeneXus	ジェネクス	南米ウルグアイの「GeneXus S.A社」が開発した『超高速開発ツール』。超高速開発ツールとは、アプリケーションやシステムなどを自動生成するためのソフトウェア。自動生成がどこまでの工程をこなすかはツールごとに異なるがGeneXusでは、ほとんどの作業を自動で行う。

用語集②

用語	英語表記、読み方など	解説
マルチクラウド	-	企業の情報システムなどで、複数の異なる事業者のクラウドサービスを併用すること。用途やシステムごとに使い分けたり、連携させて一体的に運用したりする。
ハイブリッドクラウド	-	クラウドコンピューティングの実現形態の一つで、パブリッククラウドとプライベートクラウドを組み合わせたもの。また、仮想化システム上で実行されている仮想マシン（VM: Virtual Machine）を、プライベートクラウドとパブリッククラウドをまたいで移行できるような運用形態のこと。
パブリッククラウド	-	情報システムのインフラをサービスとして遠隔から利用できるようにしたクラウド環境のうち、誰でもインターネットからアクセスして利用できるもの。
プライベートクラウド	-	情報システムのインフラをサービスとして遠隔から利用できるようにしたクラウド環境のうち、企業などが自社システムでの利用のためだけに用意したもの。
インフラ （インフラストラクチャ）	-	ITの分野では、情報システムを稼働・運用するための土台となるコンピュータなどの機材や設備、それらを設置する施設、機器・施設間を結ぶ通信回線やネットワーク、ソフトウェア、データなどの総体を「ITインフラ」と呼び、これを単にインフラということがある。

用語集③

用語	英語表記、読み方など	解説
基幹システム	-	企業や官公庁などの情報システムのうち、事業や業務の中核に直接関わる重要なシステムのこと。または、全社で共通して利用される、その組織全体の基盤の一部となるシステム。
JBアジャイル	JB agile	開発期間とコストを効率化した一般的なアジャイル開発に、JBCCが独自に改善を重ねた超高速開発手法。
アジャイル開発	-	「俊敏な」「すばやい」という意味の英単語で、IT業界では経営環境の変化に迅速に対応できる柔軟な情報システムや、効率的なシステム開発手法などを指す。
Qanat Universe	カナートユニバース	JBATが長年培ってきたハードウェア技術と業務パッケージやツール系ソフトウェアの実績に加え、最新のクラウド技術を結集したデータ活用クラウド基盤。従来、一元的に取り扱うことが難しかったセンサーやログ等のIoTデバイスからのデータと既存の業務システムの情報をクラウド上で収集、融合し、見たい形に振り分け、加工、集計することが可能。さらに、加工、集計したデータをノンプログラミングで別のシステムに連携することもでき、手軽に、低コストでIoTデータの活用を実現する。

用語集④

用語	英語表記、読み方など	解説
ICT (情報通信技術)	Information and Communication Technology	情報や通信に関連する科学技術の総称。特に、電気、電子、磁気、電磁波などの物理現象や法則を応用した機械や器具を用いて情報を保存、加工、伝送する技術のこと。
クラウドカルテ 『blanc』	ブラン	『いつでも・どこでも・だれでも』をコンセプトにした電子カルテシステム。オンプレミスの電子カルテ「Ecru」(エクリュ)をより使いやすく、導入しやすいクラウドカルテとして刷新された。 ※blancは亀田医療情報株式会社の製品です。 JBCC株式会社は亀田医療情報株式会社の正規販売代理店となっております。
トータルITサービス 『HARMONIZE』	ハーモナイズ	中堅中小企業を中心に、お客様のDXを実現するトータルDXサービス。JBグループが提供する超高速開発、クラウド、セキュリティ、APIデータ連携等のソリューションを、経産省の提唱するDXフレームワークの枠組みに基づいて、強化、再構築したサービス体系。
DXフレームワーク	-	2020年12月に経済産業省より公表された『DXレポート2(中間取りまとめ)』において、DXの取り組み領域を明確化するため、DXの各アクションを取り組み領域と段階に分けて整理・図式化したもの。
DX (デジタルトランス フォーメーション)	ディーエックス (Digital Transformation)	組織横断/全社的な業務・製造プロセスのデジタル化、および顧客起点の価値創造のために事業やビジネスモデルを変革すること。

用語集⑤

用語	英語表記、読み方など	解説
デジタイゼーション	-	アナログ・物理データのデジタルデータ化。典型的には、紙文書の電子化。
デジタライゼーション	-	個別の業務・製造プロセスのデジタル化。例としては、DVDやCDの物理的なレンタルサービスから、オンライン上での月額サブスクリプションサービスへの移行等。
オンプレミス	-	企業などの組織における情報システムの設置形態の分類で、自社施設の構内に機器を設置してシステムを導入・運用すること。外部の事業者が用意した機材やソフトウェアを通信回線を経由して利用する「クラウド」型(システム/サービス)の対義語。
kintone	キントーン	サイボウズ株式会社が提供している、webデータベース型の業務アプリ構築クラウドサービス。マウス操作で直感的に自社に合ったシステムが作成できる他、豊富なAPIを通じて他システムとの連携も容易に可能となっている。

JBCCホールディングス株式会社 経営管理 [e-mail ir@jbcc.co.jp]

資料についてのご注意

- ・本資料は、当社の業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本資料に記載されている将来の動向や業績等に関する見通しは、リスクと不確定な要素を含んだ予測であり、将来の業績を保証するものではありません。
実際の業績は、様々な要因により見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。